

令和8年度

「運営に関する計画」

目標設定

大阪市立巽小学校

## 大阪市立巽小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

本校では学校教育目標を「豊かな心を持ち、自ら考え、たくましく生きぬく子どもを育てる」とし、めざす子ども像を「楽しく学ぶ子」「思いやりのある子」「ねばり強い子」としている。

児童数は、ここ数年、全学年 2 学級で横ばいである。韓国・朝鮮にルーツをもつ児童以外に多国籍の児童が増加傾向である。日本語を母語としない児童に対して、基本の教育課程外に、日本語指導のカリキュラムも必要となっている。また、不登校傾向の児童も一定数おり、家庭との信頼関係の構築、丁寧な連絡体制、外部機関との連携も必要である。

特色ある活動として、「互いを認め合う教育活動」として、ペア学年活動、国際理解教育の一環での行事を企画している。「個に応じた指導の充実」としてチャレンジタイムや読書タイム、イングリッシュタイムなど発達段階に応じた個別最適な学習の機会を設けている。また、自己肯定感を高めるための取り組みとして、体験学習や地域とのふれあい活動、いいとこみつけを重視した指導、外国人教育などを計画している。以上のような取り組みを年間を通して全学年で行い、「楽しく学ぶ子」「ねばり強い子」の育成を図っていく。

また、規範意識を育成し、きまりや約束を守り、自律的な生活態度を身につけると共に、対話を大切にしながら様々な学習や活動を通して、互いの思いや考えを尊重し合い、豊かな人権感覚を醸成し、生き抜く力を培っていきたいと考える。

**【児童が安心して楽しく通える学校づくり】**

ともに助け合い、励ましあい、成長できる学校をめざし、学校行事など工夫をしながら、自己肯定感を高めることに取り組んできた。しかし、様々な理由により、不登校傾向となる児童が一定数おり、児童が安心して学校に通えるよう、学級活動・異学年集団活動や体験的な学習を充実させ、毎日楽しく通える学校づくりに取り組んでいく。そのために道徳や人権教育の取り組みから、互いのちがいを理解すると共に、友だちのよさを見つけ尊重し合い、相手の立場になって考え、いじめを許さない仲間づくりをすすめていく。

**【学力・体力の向上】**

若手教員が増えるなか、教員一人ひとりの指導力の向上を図り、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の視点に立った授業改善を行い、思考力・判断力・表現力を育成していく。学力向上の基本となる「読み取る力」の向上のため、国語科だけでなく、総合的な読解力の育成も推進していく。3年生以上における外国語の授業においては、より充実した学習となるよう、専門的な知識・技術をもつ外部人材(C-NET 含む)の活用も定着しつつある。

体力向上に向けて、年間を通じて「運動好き」な子どもの育成のため、体育的な行事や取り組みを充実させていく。健康面では、日常的に手洗いうがいの励行の習慣化を図り、早寝早起きの生活習慣の確立や毎日の食の指導を通して、健康な体づくりへの意識を高めさせていく。健康週間を計画、実施し、その年度にあった健康づくりを推進する。

**【教職員の心身の健康保持】**

年間を通して児童へのより良い授業・指導を行うには、教職員も時間的・精神的な余裕をもつことが必要である。そのため、教職員のゆとりの日やノー残業デーを設定したり、年次休暇取得を促進するため、学校閉庁日を設定したりする。

## 中期目標

### 【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。(R6 86.3% R7 83.9%)
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 69%以上にする。(R6 63.1% R7 65.9%)
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 72.5%以上にする。(R5 76.2% R6 79.9% R7 72.1%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント減少させる。
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 71%以上にする。(R7 3年 53% 4年 78% 5年 68% 6年 69% 平均 67%)
- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を 94%以上にする。(R7 3年 87.5% 4年 98.2% 5年 83% 6年 90% 平均 89.7%)

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら、学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 76%以上にする。(R7 72.8%)
- 令和 11 年度に向けて毎週金曜日に「ゆとりの日」または「ノー残業デー」を設定し、教員の時間外勤務時間を減少させる。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(R6 86.3% R7 83.9%)
- 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。(R6 63.1% R7 65.9%)
- 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72.2%以上にする。(R5 76.2% R6 79.9% R7 72.1%)

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント減少させる。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を68%以上にする。(R7 3年53% 4年78% 5年68% 6年69% 平均67%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を91%以上にする。(R7 89.675%)

### 【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら、学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。(R7 72.8%)
- 毎週金曜日に「ゆとりの日」または「ノー残業デー」を設定し、教員の時間外勤務を前年度より減少させる。

## 大阪市立巽小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【安全・安心な教育の推進】</b></p> <p>○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(R6 86.3% R7 83.9%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。(R6 63.1% R7 65.9%)</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72.2%以上にする。(R5 76.2% R6 79.9% R7 72.1%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本を大切に、児童にとって分かり易い授業を行い、日々の授業での活躍の場を設ける。そして、普段の友人関係から互いに尊重しあう姿勢を養い、学校での居場所をつくることに努める。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を84%以上にする。(R6 86.3% R7 83.9%)</li> </ul>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心の天気のかもり・雨・雷項目を入力した児童に対して、個別に聞き取りを行う。また、担任の他にも校内に悩みを打ち明けられる場所や人があることを伝え、スクールカウンセラーによる特別授業を各学年行う。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を66%以上にする。(R6 63.1% R7 65.9%)</li> </ul>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度までの調査における自己肯定感の低い児童を教職員間で把握・情報共有し、様々な機会を通じて当該児童を認める活動を行う、すべての児童の頑張りに対しタイミングを逃さずに称賛の声かけを行う、各家庭への啓発活動を行うなどして児童の自己肯定感の向上を図り、児童アンケートの類似項目の回答において指標と同等の割合を目指す。</li> </ul> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校学力経年調査における「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を72.2%以上にする。(R5 76.2% R6 79.9% R7 72.1%)</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①	
後期への改善点	
①	

## 大阪市立巽小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した  
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> ○小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント減少させる。 ○小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を68%以上にする。(R7 3年53% 4年78% 5年68% 6年69% 平均67%) ○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を91%以上にする。(R7 89.675%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> ・週に1回以上、朝の学習の時間に算数科のデジタルドリルを活用することで、既習事項の確認・確実な定着を図り、学力の土台を育成する。	
<b>指標</b> ・小学校学力経年調査における、算数の学力に課題の見られる児童の割合を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント減少させる。	
<b>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</b> ・朝の読書タイムや休み時間の図書館開放において、豊かな読書活動を通して活字に親しませ、確かな学力の土台を作る。	
<b>指標</b> ・地域の図書館や図書ボランティア、学校図書館司書との連携を推進し、各学年ごとに年2回以上、図書資料を通して教科・領域の学習を深化させ、読書に親しむ環境の充実を図る。	
<b>取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】</b> ・体育の授業での単元毎に習得させたい動きを準備体操に組み込んで児童の運動に対する興味・関心を高めるとともに、かけ足週間や縄跳び週間の取り組みを設けて、各自、表に記録することで目標を達成した喜びを味わえるようにする。	
<b>指標</b> ・年2回の強化週間を設け全学年で活動するとともに、各学年では体育科授業でも取り組み、体力向上の機会を得る。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
①	
後期への改善点	
①	

## 大阪市立巽小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した B: 目標どおりに達成した  
C: 取り組んだが目標を達成できなかった D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【学びを支える教育環境の充実】</b> ○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら、学習を進めていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。(R7 72.8%) ○毎週金曜日に「ゆとりの日」または「ノー残業デー」を設定し、教員の時間外勤務を前年度より減少させる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 ・ICT活用に関する教員研修を年間3回以上実施する。	
指標 ・児童アンケートにおける「学習者用端末を活用して、自分のペースで理解しながら、学習を進めていますか。」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を73%以上にする。(R7 72.8%)	
取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・毎週金曜日に「ゆとりの日」または「ノー残業デー」を設定する。	
指標 ・勤務情報システムの「在校等時間超過件数」で月ごとに表示される、在校等時間が30時間を超える人数を10人以内に抑える。(R7年度3月の時点で10人)	

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

①
---

## 後期への改善点

①
---

令和8年度 学校関係者評価報告書

(年度末に記入)

大阪市立巽小学校 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：
年度目標：